

「㊦意欲を持って学ぶ子」

「㊦仲良く高め合う子」

「㊦強い心と体を鍛える子」

学校だより

屏風山
びょうぶさん

令和2年 8月 7日

瑞浪市立 稲津小学校

稲津小学校ホームページへのリンク→



新しい自分に出会っている子どもたち

校長 田口 宏二

新型コロナウイルス感染症への対応の中、再開した学校。

午前午後に分けての準備登校・分散登校、大雨警報による臨時休校、キノコバエの大量発生、グラウンドの地すべり、猛暑の中での登下校…。いろいろとご心配をおかけしましたが、子どもたちは44日間の1学期を元気に、そして無事に過ごすことができました。地域の皆さんや保護者の皆さんのご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

4月の始業式に、全校児童にいろいろなことに挑戦して「新しい自分に出会いましょう。」という話をしました。

今日の終業式で、6年生の代表の子が1学期の成長について、全校放送で語ったことを紹介します。

「1学期がんばったこと」

今年は、感染症が流行して、学校の授業や行事が減りました。大変でしたが、できるようになったこともたくさんありました。

まず、私は去年よりも挙手をする回数が増えました。初めての分散登校では、私たちは6人でした。人数が少ないので挙手発言する回数が多かったです。それで、挙手をする自信ができました。

また、家で過ごすことが多く、家での自学を頑張るようになりました。また、家族との会話も増えました。

今年の1学期は苦勞したことも多かったけど、できるようになったことも増えました。これからも頑張りたいです。

～6年生代表 塚田さん～

稲津小学校の子どもたちは、コロナ禍で今まで通りの学校生活が送れない中でしたが、ピンチをチャンスに変えて、“新しい自分に出会っていました。”大変うれしく、そしてたくましさを感じました。

明日から9日間の夏休み。いつもの年より短く、そしてコロナ感染予防も気を付けなければなりません。何か一つでもいいので「○○しよう」「やってみよう」と思い、取り組んでみて、新しい自分に出会うことのできる夏休みになることを期待しています。